



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日  
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社  
コード番号 8793 URL <http://www.necap.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今関 智雄  
問合せ先責任者 (役職名)コミュニケーション部長 (氏名)児玉 誠一郎  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・取引金融機関向け)

(TEL)03(6720)8400  
平成29年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	111,102	15.9	10,962	296.9	10,886	158.5	4,736	62.0
29年3月期第2四半期	95,844	△4.4	2,761	12.3	4,210	65.0	2,924	64.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 9,056百万円 (185.6%) 29年3月期第2四半期 3,170百万円 (432.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	219 95	—
29年3月期第2四半期	135 81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	864,031	108,804	9.7
29年3月期	860,482	108,821	9.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 83,379百万円 29年3月期 79,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	22 00	—	22 00	44 00
30年3月期	—	22 00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22 00	44 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△2.7	12,500	107.5	12,500	91.2	5,500	56.4	255 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規—社(社名)—、除外—社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	21,533,400株	29年3月期	21,533,400株
30年3月期2Q	398株	29年3月期	398株
30年3月期2Q	21,533,002株	29年3月期2Q	21,533,002株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
(1) セグメント別の状況	11
(2) 営業資産残高	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4-6月期のGDPが6四半期連続でプラスとなり、好調な企業業績を背景に日経平均が2万円の大台に定着するなど、良好な状況が継続しております。一方、国外においては、北朝鮮情勢の緊迫化や、アメリカの金融危機対応完了に向けた動き等、国内景気に大きな影響を及ぼす可能性のある不確定要素も多く、今後の動向を注視する必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の平成29年9月累計のリース取扱高は、前年同期比6.3%減の2兆2,735億円と、前年同期を下回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、主要顧客である官公庁等との良好な取引関係を活かして取引規模の確保に努めると共に、従来から実施している相談型営業の強化や小口リースの拡大により、当第2四半期連結累計期間における契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

ファイナンス事業においても、従来のNECグループ商流に留まらない幅広い顧客に対するファイナンス案件の取り組みや、メガバンクをはじめとした各金融機関とのパートナーシップ強化、個別ファクタリングの受注強化を行ったことから、契約実行高、成約高共に前年同期を上回りました。

リサ事業においては、大型の営業投資有価証券の売却や、債権投資の回収益などがあったことにより、売上高、営業利益共に前年同期を大幅に上回りました。

また、その他の事業においては、満了解約売上や商品売上が例年以上に計上されたものの、営業投資有価証券の減損計上などから、営業利益については前年を下回る結果となりました。

経営成績としては、上記の事業活動が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回っております。営業利益、経常利益についても売上高の増加等により前年同期比大幅増となり、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した後の親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を上回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,111億2百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益109億62百万円(同296.9%増)、経常利益108億86百万円(同158.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益47億36百万円(同62.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比2.9%減の814億46百万円となったものの、営業利益は貸倒引当金戻入額の計上等により、前年同期比7億97百万円増加し27億82百万円となりました。

#### ②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、金利収入や配当収益等により前年同期比24.4%増の28億66百万円となり、営業利益は貸倒引当金繰入額の増加等があったものの、前年同期比1億80百万円増加の12億78百万円となりました。

#### ③リサ事業

リサ事業の売上高は、ファンドによる営業投資有価証券の売却があったことから前年同期比250.8%増の139億23百万円となり、営業利益は前年同期比73億63万円増加し76億97百万円となりました。

#### ④その他の事業

その他の事業の売上高は、賃貸取引の中途解約に伴う物件売却や商品売上があったことから前年同期比124.5%増の128億89百万円となったものの、営業利益は営業投資有価証券の減損処理等により、前年同期比1億26百万円減少し72百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて35億49百万円増加し、8,640億31百万円となりました。主な要因としては、リース債権及びリース投資資産が170億33百万円減少したものの、営業貸付金が224億58百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて35億66百万円増加し、7,552億27百万円となりました。主な要因としては、コマーシャル・ペーパーが100億円、買掛金が23億71百万円減少したものの、社債（1年内償還予定の社債を含む）が100億円、短期借入金が62億30百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて16百万円減少し、1,088億4百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金が、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により42億62百万円増加したものの、非支配株主持分が42億44百万円、その他の包括利益累計額が34百万円減少したことによります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下資金という）は、343億11百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果によって使用した資金は4億22百万円（前年同期は14億2百万円の収入）となりました。これは主にリース債権及びリース投資資産の減少額170億33百万円があったものの、営業貸付金の増加額231億30百万円があったことによります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果によって使用した資金は43億75百万円（前年同期は57億70百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入52億86百万円及び投資有価証券の売却による収入24億88百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出121億8百万円があったことによります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果によって使用した資金は46億69百万円（前年同期は63億73百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入444億85百万円、社債の発行による収入100億円及び短期借入金の増加額60億47百万円があったものの、長期借入金の返済による支出455億30百万円、非支配株主への配当金の支払額132億5百万円及びコマーシャル・ペーパーの減少額100億円があったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成29年7月28日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（平成29年10月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,950	34,270
割賦債権	15,891	16,451
リース債権及びリース投資資産	404,535	387,502
貸貸料等未収入金	19,315	20,963
営業貸付金	212,962	235,421
買取債権	20,725	19,983
営業投資有価証券	11,240	13,388
販売用不動産	28,206	31,892
その他	16,839	12,814
貸倒引当金	△7,394	△6,028
流動資産合計	766,272	766,658
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	45,593	45,421
社用資産	4,141	4,688
有形固定資産合計	49,735	50,109
無形固定資産		
賃貸資産	1,078	1,140
のれん	4,377	3,996
その他	2,433	1,850
無形固定資産合計	7,890	6,987
投資その他の資産		
投資有価証券	27,125	31,524
その他	11,544	10,812
貸倒引当金	△2,086	△2,061
投資その他の資産合計	36,584	40,275
固定資産合計	94,209	97,373
資産合計	860,482	864,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	417	236
買掛金	14,273	11,902
短期借入金	49,343	55,574
1年内返済予定の長期借入金	111,602	118,017
1年内償還予定の社債	-	10,000
コマーシャル・ペーパー	152,000	142,000
債権流動化に伴う支払債務	6,399	6,144
未払法人税等	197	1,093
賞与引当金	671	1,093
その他	19,414	19,549
流動負債合計	354,321	365,611
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	305,672	298,535
債権流動化に伴う長期支払債務	10,729	10,407
退職給付に係る負債	2,275	2,296
その他	8,662	8,375
固定負債合計	397,339	389,615
負債合計	751,661	755,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,648	4,648
利益剰余金	69,847	74,109
自己株式	△0	△0
株主資本合計	78,271	82,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917	839
繰延ヘッジ損益	△219	△170
為替換算調整勘定	199	185
退職給付に係る調整累計額	△17	△8
その他の包括利益累計額合計	880	845
非支配株主持分	29,669	25,425
純資産合計	108,821	108,804
負債純資産合計	860,482	864,031

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	95,844	111,102
売上原価	84,740	92,427
売上総利益	11,104	18,674
販売費及び一般管理費	8,342	7,712
営業利益	2,761	10,962
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	38	28
持分法による投資利益	54	-
受取損害賠償金	1	61
投資事業組合等投資利益	-	44
投資有価証券売却益	-	7
為替差益	1,358	-
その他	72	19
営業外収益合計	1,528	165
営業外費用		
支払利息	16	11
持分法による投資損失	-	22
為替差損	-	160
投資事業組合等投資損失	51	38
その他	11	7
営業外費用合計	79	240
経常利益	4,210	10,886
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	70	-
特別利益合計	70	-
税金等調整前四半期純利益	4,281	10,886
法人税、住民税及び事業税	1,168	1,599
法人税等調整額	185	114
法人税等合計	1,353	1,714
四半期純利益	2,927	9,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,924	4,736



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,927	9,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△114
繰延ヘッジ損益	406	44
為替換算調整勘定	△174	△14
退職給付に係る調整額	51	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	△40
その他の包括利益合計	243	△115
四半期包括利益	3,170	9,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,214	4,701
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	4,355

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,281	10,886
減価償却費	4,868	4,767
のれん償却額	538	539
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△86	△1,390
賞与引当金の増減額(△は減少)	180	421
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	48	15
受取利息及び受取配当金	△42	△31
資金原価及び支払利息	2,294	2,258
持分法による投資損益(△は益)	△54	22
為替差損益(△は益)	△3,410	462
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△93
投資有価証券評価損益(△は益)	7	27
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△70	-
割賦債権の増減額(△は増加)	292	△559
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	24,285	17,033
営業貸付金の増減額(△は増加)	△11,148	△23,130
売上債権の増減額(△は増加)	20	△1,645
買取債権の増減額(△は増加)	△3,685	742
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△2,453	△2,147
販売用不動産の増減額(△は増加)	△745	△4,104
賃貸資産の取得による支出	△3,085	△2,756
賃貸資産の売却による収入	585	353
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,902	△2,725
その他	△365	3,420
小計	6,352	2,365
利息及び配当金の受取額	42	36
利息の支払額	△2,292	△2,241
法人税等の支払額	△2,699	△583
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,402	△422

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△1,327	△258
投資有価証券の取得による支出	△5,360	△12,108
投資有価証券の売却による収入	-	2,488
投資有価証券の償還による収入	790	5,286
その他	127	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,770	△4,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	36,014	6,047
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△5,000	△10,000
長期借入れによる収入	33,228	44,485
長期借入金の返済による支出	△59,991	△45,530
債権流動化による収入	7,240	2,900
債権流動化の返済による支出	△4,658	△3,476
社債の発行による収入	10,000	10,000
社債の償還による支出	△10,000	-
配当金の支払額	△473	△474
非支配株主への配当金の支払額	△1,340	△13,205
非支配株主からの払込みによる収入	1,354	4,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,373	△4,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	△548	△52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,457	△9,520
現金及び現金同等物の期首残高	30,577	43,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,034	34,311

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	83,853	2,303	3,968	5,742	95,868	△24	95,844
セグメント利益	1,984	1,098	334	198	3,614	△852	2,761

(注)売上高の調整額△24百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益の調整額△852百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	81,446	2,866	13,923	12,889	111,126	△23	111,102
セグメント利益	2,782	1,278	7,697	72	11,830	△868	10,962

(注)売上高の調整額△23百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益の調整額△868百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. その他

## (1) セグメント別の状況

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	83,853	76,350	7,503	1,522	5,980	3,996	1,984
ファイナンス事業	2,303	—	2,303	521	1,782	684	1,098
リサ事業	3,968	1,801	2,167	161	2,006	1,671	334
その他の事業	5,742	4,309	1,432	79	1,353	1,154	198
調整	△24	△5	△18	—	△18	834	△852
合計	95,844	82,455	13,389	2,284	11,104	8,342	2,761

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	81,446	74,469	6,976	1,412	5,564	2,781	2,782
ファイナンス事業	2,866	25	2,841	579	2,262	983	1,278
リサ事業	13,923	3,983	9,940	173	9,767	2,069	7,697
その他の事業	12,889	11,712	1,177	67	1,109	1,037	72
調整	△23	△5	△17	11	△28	839	△868
合計	111,102	90,183	20,918	2,244	18,674	7,712	10,962

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

## (2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
賃貸・割賦事業	451,947	60.6	450,105	57.5	△1,841	466,689	60.8
ファイナンス事業	206,878	27.8	244,825	31.3	37,946	221,207	28.8
リサ事業	49,181	6.6	61,079	7.8	11,897	52,978	6.9
その他の事業	37,343	5.0	26,708	3.4	△10,634	27,042	3.5
合計	745,351	100.0	782,719	100.0	37,368	767,917	100.0

(注) 当第2四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が7,649百万円、買取債権が19,983百万円、営業投資有価証券が11,251百万円、販売用不動産が7,320百万円、賃貸資産が410百万円、投資有価証券が14,464百万円となっております。